

【ものづくり、人づくり、地域づくり】 震災・原発事故からもうすぐ1年

もう二度と、子供たち・お母さんたちを被ばくさせてはならない
もうこれ以上、放射能で田畑、川、海を汚染させてはならない

国・日本原電(株)は、6月燃料装着、8月稼働を計画

「放射能はもうこいごい！」 みんなの思いを声にして

東海第2原発を 廃炉へ！



←駐車場には、原子炉の実寸モデルが描かれている(円形)。上の写真は海側から。

〔東海第2原発廃炉に向けての行動提起〕

●2/26(日)東海原発を「人の鎖」で取り囲もう！

2/26(日) 13:30～14:40 東海村 阿漕ヶ浦公園集合 生協でバスチャーター

●3/20(火・祝)13:00～広瀬隆 講演会 (つくば国際会議場)

「東海第2原発を廃炉に！」 市民・消費者・農漁民の決起集会に集まろう！

●茨城県知事へ脱原発要請ハガキを送ろう！

「東海第2原発再稼働に不同意を！」一斉ハガキ要請 ただいまハガキ作成中

●最後の手段で「再稼働差し止め訴訟」も辞さず

訴えの論点(訴状案)を1/30理事会検討、2/6脱原発委員会で検討→弁護士へ

●「生きた味噌」こそガンを予防 手作り味噌で放射能に負けない身体づくりを！

各地区、味噌講習会がスタート！

初めての組合員さん、先輩と職員が教えます！先輩組合員さん、ぜひ手前味噌持参で！

〔流山地区講習会参加者から〕

○「百聞は一見にしかず」とはまさにこの事。やってみてわかることが多く、楽しかったです。豆を手でつぶすのは良かったし、これからも取り入れたいと思いました。ゆでたお豆も美味しくて、もうひとつ仕込んでみたくなりました。(川上)



○思った以上に簡単にみそ作りができたと思いました。わかりやすい説明で、大変参考になりました。楽しみながら、作ってみたいと思います。ありがとうございました。(杉山)



○市販のものに頼らないで、みそを自作していけたら、家族の健康に良いなあとと思います。なんとか自分で作ってみようと思います(中村)

○組合員ではないですが、お誘い頂いて参加しました。手作り味噌には興味はありつつも来年にしようかと少し迷ってました。今回で疑問が解消されたので、早速今年から仕込んでみようと思います。(野口)



〔味噌づくり講習会日程〕

地区	日程	会場	その他
守谷市	2月 7日(火)	高野公民館	●時間は原則として10時～12時です。 ●味噌づくりの先輩組合員さんがお手本を見せながらいっしょに実演してゆきます。 ●「講習」は作り方の実演デモを基本にします。 ●詳細のご案内は地区別に配布されるチラシをご確認ください。
土浦市	2月 8日(水)	二中地区公民館	
我孫子市	2月10日(金)	アビスタ	
牛久市	2月14日(火)	中央生涯学習センター	
龍ヶ崎市	2月16日(木)	駒柴公民館	
柏市	2月17日(金)	光ヶ丘近隣センター	
※週末開催	2月18日(土)	生協本部(守谷)	

どの会場に参加頂いても結構です。子どもさん連れも大歓迎！
申し込みは地区別チラシまたは本部まで直接お電話で。

【子供たちに悔いを残さないために、地元の東海第2原発を廃炉に】

東海第2原発廃炉に向けて 地元の市民・消費者・生産者が声を上げるとき

3/20(火・祝)「**広瀬隆つくば講演会**」

13:30～16:30(開場13:00) つくば国際会議場 大ホール

「**第二のフクシマ:東海原発で事故あれば今度こそ日本は滅亡**」

2011年歴史的災禍を身に受けたわたしたち。

もう二度と子どもたちに、お母さんたちにこんな恐ろしい思いを
させてはならない。これ以上の被ばくをさせてはならない。

「**東海からはじまった原子の火は、東海から終わらせる!**」
せひ広瀬さんの話を聞いて、声を上げよう!

知人・友人をぜひ誘って下さい!

昨年9月土浦での開催に続き、常総生協も協賛しての開催。

今回のテーマは「東海原発の廃炉と放射能の危険性」に集中して。

稼働33年がたち老朽化が進み、死の灰(使用済核燃料)が広島型原発5
千発分も貯まり、首都圏まで100kmという近さの東海第2原発。事故ある
ときの現実を一人でも多くの人に伝えたい。是非お友達をお誘い下さい!



●講演会ポスター掲示 へのご協力を!

講演会ポスター(A-3サ
イズ)をご自宅前、集合住宅
掲示板、その他、人の目に触
れる場所に掲示していただけ
る方、供給担当までお声かけ
お願いします。

【前売券のお申し込みは注文書でお受けします】

《一般》1,000円 注文No. 500270 (当日券1,300円)

《学生・障害者》500円 注文No. 500271 (当日券700円)

※高校生以下は無料です。

●必要な枚数を注文番号にご記入下さい

【茨城県知事に住民一人ひとりの意思を伝える直接行動を準備中】 橋本県知事宛に「東海第2原発不同意・廃炉」要請 のハガキを組合員・地域のみんなで出そう!

東海村出身の橋本知事ですが、原発に対しては「
電力をきちんと確保できない状況のままで一足飛び
に原発を止めるのは難しい。電力を合理的価格で安
定供給できなければ企業は海外に拠点を移し、日本
の競争力は弱まり、経済は疲弊し、雇用に影響する」

(9月30日、茨城新聞)ここにきて多少表現は和らげて
いるものの、原発推進の姿勢は変えていません。

注意を直接県知事に伝える方法として組合員・地
域のみんなの「ハガキ行動」を準備中。生協でハガキ
を印刷・配布し、記名投函を呼び掛けてゆきます。

【日本のこと、世界市民は見てる】 ＜ナンシーさん、アメリカからご訪協＞ 「自分で見て、歩いて、本当を知らせたい」

○想像もしなかったお客様、アメリカ合衆国オレゴン
州立大学・文化人類学の教授であるナンシーさん
が常総生協にいらしてくださいました。

○スイッチ一つで日本のメディアが作る情報は全て
見られる環境がある。けれど、この画面の奥裏に
は伝えられてこない何かがある。そう感じたらいて
も立ってもしられなくて・・・と。日本の皆さんが何
をどう考えているのか知りたい、見たい。自分で歩
いて確かめたい。これから東北まで北上して被災
地見聞をするとおっしゃる。日本の盛岡で8年余を
過ごしたというナンシーさんは、日本に着いたら段
々に思い出したという流暢な日本語でご自分の思
いを語り、話しの内容を英語で書きとめます。

○世界的なエネルギ
ー経済政策の流
れの中で起きた今
回の原発事故の
連関について、生
協ではどんなこと
ができているの?



生協の放射能測定機で放射能検査する
魚住さん親子と、視察するナンシーさん

原発事故について
誰も怒らないの? そんな声は聞こえてこないの?
国民の皆さんの気持ちは一体どうなの? 学生たち
に今だからこそ、きちんとしたことを伝えたい。

○傍にはナンシーさんをお連れ下さった日本有機農
業研究会副理事長の魚住氏が、「原発は絶対に
許してはならない」「今ここでくい止めなければ繰り
返すことになる」「常総生協があるから私たちも頑
張れている」と、優しくも厳しい表情がありました。(村井記)

【東海第2原発ハイロアクション】

2/26(日)「東海第2原発」をヒューマンチェーン (人間の鎖)でつなぎ、廃炉をアピール!

【日 時】 2月26日(日) 13:00～14:40

【集会会場】阿漕ヶ浦(あこぎがうら)公園

(住所:東海村大字村松579 電話:029-282-3835)

【主 催】 さようなら原発・東海第2原発ハイロアクション実行委員会

【内 容】 集合 13:00(阿漕ヶ浦公園)

集会 13:30～14:00

移動 14:00～14:30 原電前まで約1.5kmを歩いて移動

ハイロアクション 14:30～14:40 原電前の国道沿約1キロをヒューマンチェーン



●日本原電は東海第二原発の停止から定期点検に入り、ストレステ
ストの実施など手続きを経て、今年6月には「再稼働」に向けた燃料装荷
の動きを見せています。再稼働に反対し、廃炉を求める行動として東
海第2原発をヒューマンチェーン(人間の鎖)でつなぎ、廃炉をアピール
します。ぜひ家族揃って、ご近所・お友達もご一緒にご参加を!

★生協本部(守谷)からバスを準備しますので、是非ご参加を! 集合
時間等、詳しくはお申込みいただいた方に後日お知らせいたします。

【阿漕ヶ浦公園までのアクセス】

(車)
常磐道「那珂IC」から30分
常磐道「東海スマートIC」から15分
北関東道「ひたちなかIC」から20分

(電車)
JR常磐線「東海駅」下車
徒歩約1時間(4km)

●●●2/26「東海第2原発ハイロアクション」に参加します●●●

・生協のバスを利用します ・現地まで自分で行きます

コース名 _____ 班名 _____ お名前 _____ 人